

環境農業新聞購読方法

年3,000円
毎月15日発行
FAX、メールでお申し込み下さい。
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

毎月15日発行
平成13年4月17日
第三種郵便物認可

第7回日本の農業と食のシンポジウム

パネルディスカッションで「種」を語る

消費者は賢くなる!!

種を守りたい 山田元農相

最上紅花の種を豊受で

山田元農相

第7回日本の農業と食のシンポジウムにおいてパネルディスカッションが行われた。なかなか興味がある話が展開されたので、その模様を紙面でかいつまんで紹介する。登壇した方は、由井寅子大会長、女優の杉田かおるさん、小名木善行さん、弁護士の出喜久治さん、安田節子さん、山田元農相さん。司会者は東昭史さん。(※紙面の都合で割愛しました)

パネルディスカッションは、天孫降臨の時に稲の冒頭では、3年前にもシンポジウムに参加された方、種をいよいよ降臨してきたというお話は日本らしいもの、その事を考えるという話は何かなと思ふ「命の種」、「命の根」ということについて話しながら「命の種」を略したらイネ(稲)になる。そういう思いで、我々はこの種をいよいよを非常に重要と考えなければならぬ」と述べ、現在の政府のやり方を「野合」と批判し、危機的な状況を打破していく対策として、一人ひとりが自らを守ると意識することの必要性を訴えた。

小名木善行さんからシンポジウムを通しての感想として、「種って大事です今日、改めて認識させていたいただいた気がします。町によって村によって地域によって同じ野菜でも同じ植物でも同じ種でも、例えば九州で生まれた、国士と共に生きてき

パネルディスカッションは活発に展開

たと言ったことからたぶん今の私達日本がある」と山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

年種子を買わなければいけない。主食の穀物で毎年世界中の農家が買っていると莫大な利益になります。問題の根本は種に特許を認めてはならないと言うこと。自然の中、延々と農家がいろいろな種を選んできて今ある種子で私達がその恵みに預かっている。それを私が Monsantoだとするとその中のとてもいい性質がある。その性質を自分が見つけたんだと言ったら許さる。特許を掛ける。特許を掛けたら全部 Monsantoのものになります。生物特許を認めると言う事は、最近で、世界の先進国が認めるようになったが、最近ドイツは禁止。種の特許を取ってはいけないと法律を改正して決めました。日本も既にこの生物特許を認めています。私達は、この種子法も含めて種への特許は違法であると言風にならなければいけない」と訴えた。

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

山田元農相さんからは「私も若い時代農業を取り組んで、大規模化をやって、若いときに4億の借金を作り間違ってしまったことに気づいた。何も科学的に合理的で大規模だというのがいいものではなく自然のものが一番」と

(文責在記者)